

国道47号 雪崩緊急点検の実施について

仙台河川国道事務所が管理する国道47号においては、記録的な豪雪となった平成23年度を大幅に上回るペースの降雪となっており、2月10日時点の累加降雪量が703cmとなり観測史上2番目の豪雪となっています。

【参考】平成23年度降雪量

平成24年2月10日時点 610cm
平成24年3月31日時点 858cm

一方でこれからの時期は気温の上昇や降雪状況によっては、雪崩が発生しやすい状況となります。

仙台河川国道事務所では、管内の直轄国道について日頃から点検を実施してきたところですが、このたび、雪崩の心配がある箇所について、専門家を交えた雪崩の緊急点検を実施することとしましたのでお知らせします。

- 調査日時 : 平成25年2月18日(月) 10:30~12:00(予定)
- 調査箇所 : 国道47号(大崎市鳴子温泉古戸前~川端地内) 9箇所を予定(別紙位置図参照)
- 点検方法 : 雪崩専門家及び職員による目視点検
- その他 : 点検結果について、後日記者発表を予定しております

*発表記者会等

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、大崎記者クラブ

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

電話番号 : 022-248-4131

道路担当副所長 おくやまえいじ 奥山英治 (内線206)

道路管理第二課長 ただしげお 武田滋生 (内線441)

●点検箇所位置図

